

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	32-1
PDCA	主要事業名	オリンピック・パラリンピック事業	部課名	教育部スポーツ課	担当	瀧田	
					内線	422	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 2 単位施策： スポーツ 全体事業期間： 令和 元 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 10,224 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.06.02.10.50 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 5,600 千円						
	事業概要等	事業概要： 東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレー等を実施し、スポーツに対する市民の関心を高めるとともに半田市の魅力を内外に発信する。					
		事業目的： 市民一人ひとりが東京2020オリンピック・パラリンピック関係事業に参加することで、オリンピックに興味をもち、スポーツ人口の増加を図る。					
		事業内容： オリンピック聖火リレーの実施、パラリンピック聖火フェスティバルの実施をします。					
		問題点・実施に向けて東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会等との課題等： 連携が必須であるが、情報が市町へ伝わるのに時間を要す。					
	予算額	主要事業とする理由					
	6,072 千円	東京2020オリンピック聖火リレー実施会場に選出される等、千載一遇の好機に、スポーツに対する市民の関心を高めるとともに半田市の魅力を内外に発信するため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	半田市の魅力を世界規模で発信することができます。また、市民がスポーツを身近に感じることができ、スポーツ実施人口の増加を図ることができる。					
	6,072 千円	目標値や目指すべき状態					
	国費	令和元年度 令和2年度 令和3年度 単位					
	0 千円	オリンピック・パラリンピックイベント開催数					
	0 千円	実績値 0.0 0.0 — 回					
	0 千円	目標値 0.0 0.0 2.0 回					
	D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果				
4,868 千円		オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルを半田で開催し、半田市の魅力を発信するとともに、市民等がスポーツを身近なものとして感じてもらう機会を創出することができた。					
		成果指標					
		令和3年度 単位					
		オリンピック・パラリンピックイベント開催数					
		実績値 2.0 回					
		目標値 2.0 回					
C 課題の整理		事業の評価・課題	B				
	聖火イベントについては、コロナ禍の中、感染対策を徹底して開催することができた。オリンピック聖火リレーでは、聖火ランナーが上半田地区祭礼に使用するちんろ舟に乗船して半田運河を走行し、パラリンピック聖火フェスティバルでは半田市出身の児童文学作家である新美南吉が執筆した童話「ひとつの火」を朗読しながら聖火を採火した。さらに、開催後は聖火トーチ等の展示や記念路面サインを設置した。この聖火イベントを通じて、半田市の魅力発信とともに、市民等がスポーツを身近なものとして感じてもらう機会を創出することができた。						
	A 今後の課題の方向性	今後の事業の方向性	終了				
東京2020オリンピック・パラリンピックは終了したが、2026年に愛知県で開催されるアジア競技大会においても、半田市の魅力を発信し、市民等も参加できるイベント等を開催する等、引き続きスポーツに触れられる機会の創出に努める。							
観点別評価		必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用